

議提第7号

米価暴落に対する緊急対策を求める意見書

会議規則第14条の規定により、米価暴落に対する緊急対策を求める意見書を次のとおり提出する。

令和3年9月28日 提出

提出者	北本市議会議員	湯 沢 美 恵
賛成者	北本市議会議員	村 田 裕 子
賛成者	北本市議会議員	金 森 すみ子
賛成者	北本市議会議員	松 島 修 一
賛成者	北本市議会議員	中 村 洋 子

北本市議会議長 工 藤 日出夫 様

米価暴落に対する緊急対策を求める意見書

昨年来、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外食を中心に米需要が大きく減少し、2020年産の米価は下落を続けました。

新型コロナウイルス感染拡大による影響は今年に入っても長引き、需要は引き続き減少しています。農林水産省が公表した令和3年6月末の民間在庫量は219万トンと、適正在庫とされる180万トンを大幅に上回っています。今年、収穫期を迎えている産地では、「昨年の米が倉庫に大量に残っており、新米を入れる場所がない」という事態まで生まれています。

農業協同組合が生産者に渡す概算金が、埼玉県では60キログラム当たり8,300円で昨年より約3,900円の下落です。

米生産者はこの二十数年、米価の下落・低迷に苦しめられてきました。市場まかせの政府の米政策のもとで、かつて60キログラム平均で2万2,000円を超えていたのが、今や1万円前後です。他方、農林水産省の調査では、米60キログラムを生産するのにかかる直近（2019年産米）の経費は、平均で1万5,000円を超えています。

米生産者の大多数は赤字生産を強いられ、米代金では家族労働費どころか農機具、肥料などの物財費さえ償えない状況です。

よって国におかれましては、下記の事項を速やかに実現されることを強く要望します。

記

- 1 過剰在庫を国が買い取り、市場から隔離すること。
- 2 買い取った米を生活困窮者、学生、子ども食堂などへ積極的に供給すること。
- 3 ミニマム・アクセス米の輸入を縮小すること。
- 4 転作補助金の拡充を図ること。
- 5 農業者戸別所得補償制度を復活すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

内閣総理大臣、農林水産大臣、衆議院議長、参議院議長